

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	「書Ⅱ」 (光村図書)						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・書道Ⅰの授業で学んだことを発展させて、書道の創造的な諸活動を行い、個性豊かな作品を作ることを目指します。
- ・漢字の歴史を追いながら作品を制作し、書の文化と伝統についての理解を深めます。
- ・立体的な書として「刻字」作品を制作し、自己表現の幅を広げます。
- ・共同制作として、書道パフォーマンスによる大作に挑戦します。

2 学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察</li> <li>・レポート</li> <li>・ワークシート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察</li> <li>・レポート</li> <li>・ワークシート</li> <li>・提出作品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察</li> <li>・レポート</li> <li>・ワークシート</li> <li>・提出作品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察</li> <li>・レポート</li> <li>・ワークシート</li> <li>・提出作品</li> </ul>

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元 (題材) の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	漢字の書 (書体の変遷)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・篆書による学習</li> <li>基本・臨書・鑑賞</li> <li>「大孟鼎」・「石鼓文」</li> <li>・「篆書崔子玉座右銘四屏」</li> </ul>	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>a:篆書の成立やその表現技法について関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。</li> <li>b:篆書の美を感受し、表現を工夫している。</li> <li>c:表現技法を身に付け、自己の表現活動に発展させている。</li> <li>d:篆書の造形美や特徴を深く理解し、書と文字と文化について幅広く考え、篆書のよさや美しさを味わっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察</li> <li>・レポート</li> <li>・ワークシート</li> <li>・提出作品</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・隸書による学習</li> <li>基本・臨書・鑑賞</li> <li>「乙瑛碑」・「居延漢簡」</li> <li>・「隸書崔子玉座右銘」</li> </ul>	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>a:隸書の美とその表現技法について関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。</li> <li>b:隸書の美を感受し、表現を工夫している。</li> <li>c:表現技法を身に付け、自己の表現活動に発展させている。</li> <li>d:書と文字と文化について幅広く考え、隸書のよさや美しさを味わっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察</li> <li>・レポート</li> <li>・ワークシート</li> <li>・提出作品</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・行書草書による学習</li> <li>基本・臨書・鑑賞</li> <li>・「草書諸上座帖卷」・「集王聖教序」・「松風閣詩卷」</li> <li>・「十七帖」・「真草千字文」</li> </ul>	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>a:行書草書の成立や特徴について関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。</li> <li>b:行書草書の美を感受し、表現を工夫している。</li> <li>c:表現技法を身に付け、自己の表現活動に発展させている。</li> <li>d:書と文字と文化について幅広く考え、草書のよさや美しさを味わっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察</li> <li>・レポート</li> <li>・ワークシート</li> <li>・提出作品</li> </ul>

2 学期	2 字 創 作	・ 二 字 熟 語 に よ る 創 作 作 品 制 作 ( 5 書 体 に よ る 書 き 分 け ) 半 切 1 / 3 相 互 鑑 賞 会	○	○	○	○	a: 学 習 し て き た 古 典 を 背 景 に、 漢 字 作 品 の 制 作 に 意 欲 的 ・ 積 極 的 に 取 り 組 む っ と し て い る。 b: 自 ら の 意 図 に 基 づ い て 構 想 し、 表 現 を 工 夫 し て い る。 c: 自 己 表 現 の た め の 撰 文 や 用 具 ・ 用 材 の 選 択 を 適 切 に 行 い、 創 造 的 な 表 現 の 技 能 を 身 に 付 け 表 し て い る。 d: 互 い の 作 品 を 鑑 賞 し、 そ の よ さ や 美 し さ を 創 造 的 に 味 わ っ て い る。	・ 観 察 ・ レ ポ ー ト ・ ワ ー ク シ ー ト ・ 提 出 作 品
	漢 字 仮 名 交 じ り の 書	・ 漢 字 仮 名 交 じ り の 書 書 道 パ フ ォ ー マ ン ス 企 画 練 習 演 技 撮 影 相 互 鑑 賞	○	○	○	○	a: 大 字 書 の 制 作 に 関 心 を 持 ち、 主 体 的 に 表 現 や 鑑 賞 の 活 動 に 取 り 組 む っ と し て い る。 b: 自 ら の 意 図 に 基 づ い て 構 想 し、 表 現 を 工 夫 し て い る。 c: 体 全 体 を 使 っ て 大 作 を 制 作 し て い る。 d: 大 作 作 品 の よ さ や 迫 力 を 感 じ、 互 い の 作 品 を 鑑 賞 し、 そ の よ さ や 美 し さ を 創 造 的 に 味 わ っ て い る。	・ 観 察 ・ レ ポ ー ト ・ ワ ー ク シ ー ト ・ 提 出 作 品
	刻 字	・ 刻 字 書 稿 制 作 籠 字 彫 る 彩 色 仕 上 げ 相 互 鑑 賞 会	○	○	○	○	a: 立 体 書 と し て の 美 の 表 現 に 興 味 ・ 関 心 を 深 め、 基 礎 ・ 基 本 の 刀 法 や 表 現 技 法 を 主 体 的 に 身 に 付 け よ う と し て い る。 b: 刻 字 の 表 現 分 野 を 理 解 し て 感 性 を 豊 か に し、 創 造 性 豊 か な 表 現 の 工 夫 を し て い る。 c: 刻 字 の 表 現 を す る た め の 刀 法 を 身 に 付 け、 自 己 の 表 現 活 動 に 発 展 さ せ て い る。 d: 刻 字 の 造 形 美 や 刻 刀 が 奏 で る 立 体 美 を 感 じ 取 っ て い る。	・ 観 察 ・ レ ポ ー ト ・ ワ ー ク シ ー ト ・ 提 出 作 品
3 学 期	鑑 賞	・ 芸 術 祭 展 示 発 表 相 互 鑑 賞	○	○	○	○	a: 作 品 を 意 欲 的 ・ 積 極 的 に 展 示 し て い る。 b: 創 造 性 豊 か な 展 示 や 発 表 の 工 夫 を し て い る。 c: 書 表 現 を す る た め の 技 法 を 身 に 付 け、 自 己 の 表 現 活 動 に 発 展 さ せ て い る。 d: 互 い の 作 品 を 鑑 賞 し、 そ の よ さ や 美 し さ を 創 造 的 に 味 わ っ て い る。	・ 観 察 ・ レ ポ ー ト ・ ワ ー ク シ ー ト ・ 提 出 作 品
	仮 名 の 書	・ 仮 名 に よ る 学 習 基 本 ・ 臨 書 ・ 鑑 賞 連 綿 ・ 散 ら し 書 き メ ッ セ ー ジ カ ー ド 硬 筆	○	○	○	○	a: 仮 名 の 歴 史 や そ の 美 ( 連 綿、 散 ら し 書 き な ど ) に つ い て 関 心 を 持 ち、 表 現 や 鑑 賞 の 活 動 に 意 欲 的 に 取 り 組 む っ と し て い る。 b: 仮 名 の 書 の 美 と 基 礎 ・ 基 本 的 な 技 法 を 学 び、 表 現 を 工 夫 し て い る。 c: 基 礎 的 ・ 基 本 的 な 連 綿 や 散 ら し 書 き の 技 法 を 身 に 付 け 表 し て い る。 d: 日 本 の 書 の 伝 統 と 文 化 に つ い て 幅 広 く 理 解 し、 仮 名 の 書 の よ さ や 美 し さ を 感 じ 取 っ て い る。	・ 観 察 ・ レ ポ ー ト ・ ワ ー ク シ ー ト ・ 提 出 作 品

※ 表中の観点について a:書への関心・意欲・態度 b:書表現の構想と工夫 c:創造的な書表現の技能 d:鑑賞の能力

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。